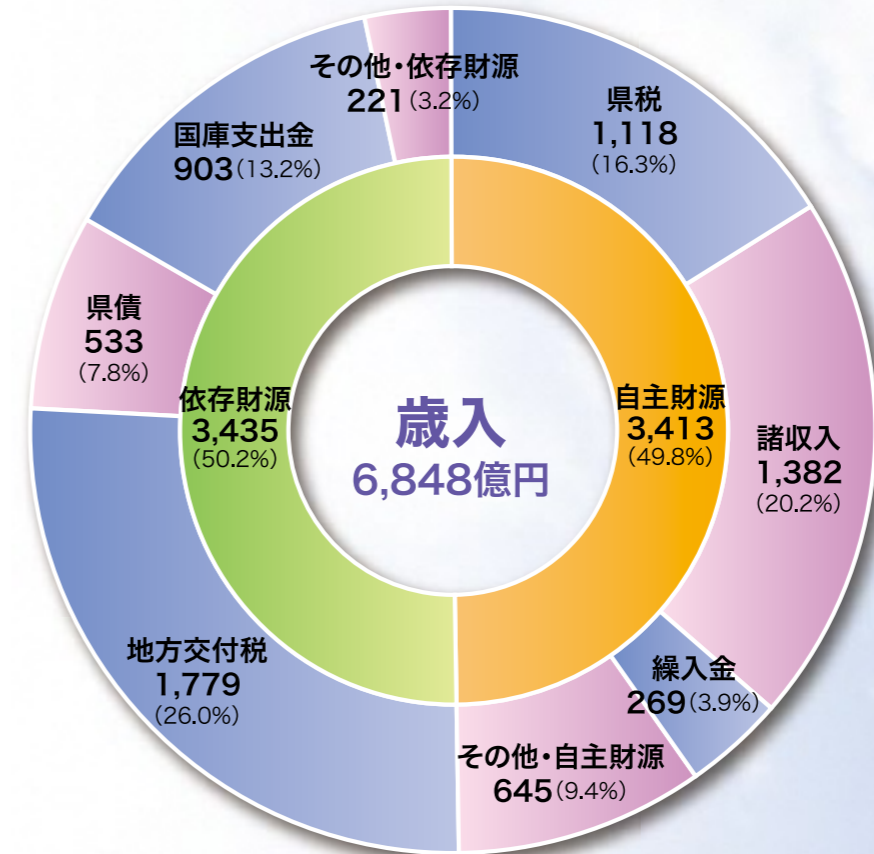
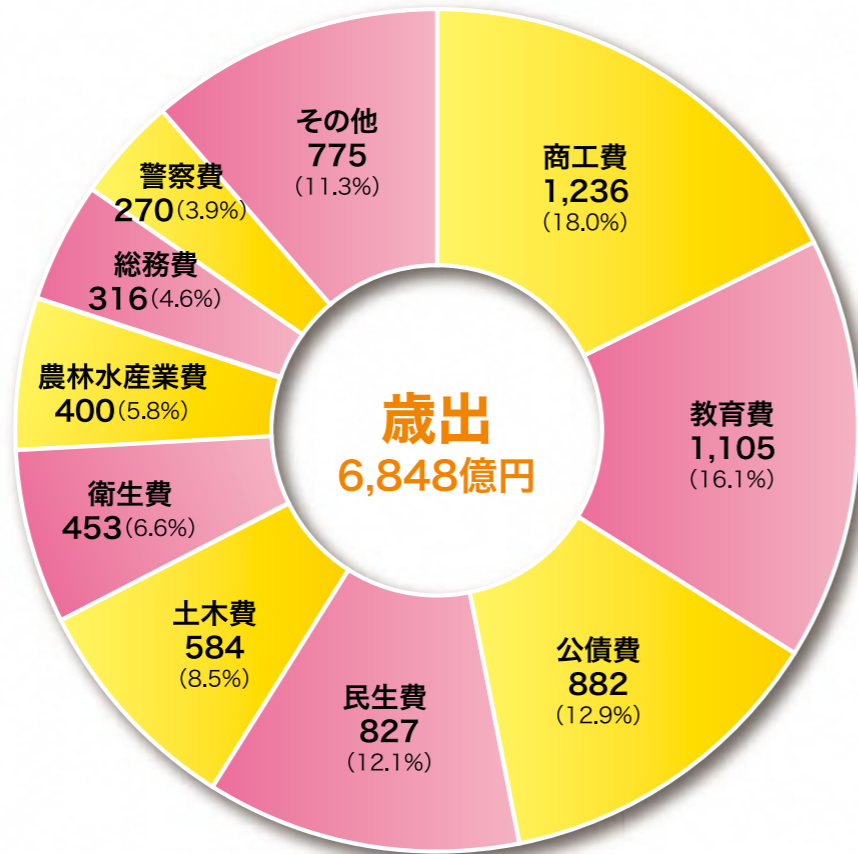


コロナ克服・やまがた新生予算

令和4年度は、「第4次山形県総合発展計画」の基本目標である「人と自然がいいきと調和し、真の豊かさや幸せを実感できる山形」の実現に向け、「令和4年度 県政運営の基本的考え方」の5つの視点を重視しながら、ウィズコロナ・ポストコロナの県づくりを推進するための予算を編成しました。

令和4年度当初予算（一般会計）の概要

単位：億円（構成比%）



用語解説



【歳入】

- ◎地方交付税…自治体間の財源の不均衡を調整するために、一定のルールで国から交付されるお金
- ◎県債…災害対応や道路整備・学校を建てるなどの目的で県が借りるお金
- ◎国庫支出金…農地の整備など、特定の事業に対して国から交付されるお金
- ◎自主財源…県税など、県が自ら収入する財源
- ◎依存財源…国から交付されたり、割り当てられたりする財源

【歳出】

- ◎公債費…県債返済などに使うお金
- ◎民生費…生活保護などの社会保障のためのお金
- ◎衛生費…医療や健康増進、環境保全などのためのお金

1 「子育てするなら山形県」の実現



【施策の方向性】

- 安心して子育てできる環境の整備
- 質の高い教育環境の整備
- 若者・女性の就業環境の整備と女性の賃金向上
- 地域資源を活用した移住・定住の促進、関係人口の拡大
- 文化芸術・スポーツに親しむ環境づくり

【主要な事業】

私立高校等の授業料軽減支援
29億9千2百万円

年収*1約590万円以上910万円未満の世帯の支援額を拡充するとともに、新たに年収約910万円以上の多子世帯*2への支援制度を創設します。

*1 世帯年収は、中学生1人、高校生1人の4人世帯の場合の目安
*2 扶養する23歳未満の子が私立高校生を含め3人以上いる世帯

全国初

特定不妊治療の自己負担額への支援
1億1千3百万円

今年4月から特定不妊治療に医療保険が適用されたことに伴って生じる医療費の自己負担の一部を助成します。

【県債残高の見込み】

今年度末の県債残高の見込みは、1兆1811億円となり、前年度の同時期と比べて、約298億円の減少を見込んでいます。

また、財政健全化の目標として掲げている臨時財政対策債と補正予算債等並びに災害復旧事業債を除いた実質的な県債残高は今年度末見込みで6502億円となり、前年度の同時期と比べて110億円減少する見込みです。

【調整基金の残高】

調整基金については、今回の予算編成において、約195億円を取り崩すこととしたことから、今年度末における残高は約217億円と見込んでいます。

NEW

保育、幼児教育、看護、介護等の現場で働く方々の処遇改善
19億3千万円*

新型コロナウイルスと少子高齢化の双方に対応する現場で働く方々の処遇改善を図るため、賃金引上げへの支援を行います。

NEW

ふるさとの魅力を再発見
1千4百万円

山形の未来を担う子どもたちに、自然や文化、伝統技術などの本県の魅力ある多様な地域資源を体験・学習してもらうことでふるさとへの理解を深め、郷土愛の醸成につなげます。



子どもは社会の宝、未来への希望

※ 令和3年度2月補正予算額を含めた額